

**登別温泉をもっと快適に  
グリーンスローモビリティ  
実証運行**

10月26日、源泉公園で低速電動バス『グリーンスローモビリティ』の実証運行出発式を行いました。

この日から登別温泉街の循環を開始した『グリーンスローモビリティ』。黄色と銀色のかわいらしい車体のバスは、乗客にやわらかい風を届けながら温泉街をゆっくりと走りました。

登別温泉地区の交通課題の把握と今後の交通システムの検討を目的とした実証運行は、この日から11月23日まで行われ、観光客や登別温泉で働く人など、多くの人がこのバスを利用していました。

10/26



▲極楽通りで復活を果たしたエンマ大王山車

**市の名物イベントが復活  
鬼火火・閻魔大王復活  
プロジェクト**

10/22-24

10月22日～24日、登別温泉街で『鬼火火・閻魔大王復活プロジェクト』が開催されました。

この催しは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった『地獄の谷の鬼火火』と『登別地獄まつり』を凝縮し、有観客イベントの実証実験を兼ねて開催。歩行者天国となった極楽通りでは『エンマ大王山車・ミニエンマ号のお披露目』、地獄谷展望台では『地獄の谷の鬼火火』が行われ、市の名物イベントの復活に、訪れた人たちは目を輝かせて楽しんでいました。



▲実証運行を行った『グリーンスローモビリティ』

**興味津々に自然観察  
キウシト湿原体験学習**

今年度も、『キウシト湿原体験学習』が行われ、市内3校の小学生148人が参加しました。

11月4日は、富岸小学校の3年生が『秋の湿原探検「ふしぎ発見」』をテーマに、グループに分かれてキウシト湿原を探検。地図とふしぎ図鑑を手みんなで協力しながらふしぎ図鑑に書かれた課題をクリアしていきました。

準絶滅危惧種のコケに触る体験をした児童は、「コケは固そうに見えたけど、触ってみるとスポンジみたいにやわらかかった」と笑顔で話しました。

11/4



▲鬼っ子宣言を掲げる参加者

**より良い学校を目指して  
鬼っ子フォーラム**

11/1

11月1日、市民会館で『鬼っ子フォーラム』を開催しました。

参加した市内の小・中学校と高等学校の合計15校の代表者が『みんなが通いたくなる学校づくり』をテーマに、各校独自の取り組みを紹介。その後、コーディネーターを交えて『人との関わり方』や『認め合いの重要性』について意見を交わしました。

最後は、今回のまとめを『鬼っ子宣言』として発表。フォーラムで学んだことを各学校で生かしていくと宣言した参加者たちは頼もしい表情を浮かべていました。



▲『準絶滅危惧種のコケ』に触る児童